

どこにいても梅花香る茨城県の新たな土産品

感染対策による手荒れ予防にも

偕楽園の梅ハンドクリーム 2月新発売

鈴木ハーブ研究所（本社：茨城県東海村/代表：鈴木さちよ）は、茨城県が誇る日本三大名園の一つ、偕楽園の梅の香りを再現した「偕楽園の梅ハンドクリーム」を2021年2月より数量限定発売します。当社は2004年茨城県で創業し、これまで地域社会との絆づくりに取り組み、さまざまな地域貢献活動を行ってきました。

《開発背景》

昨年3月、茨城県観光物産協会、茨城県偕楽園公園センター、茨城県都市整備課より水戸の「偕楽園」に咲く梅を使って商品化できないかというお話をいただき、約1年間の歳月をかけて試作品を繰り返し、偕楽園の梅の花の香りを忠実に再現したハンドクリームを開発しました。春の訪れを感じる偕楽園の梅の花の香りを、どこにいてもお楽しみいただけます。



《上品でほんのり甘い『偕楽園の梅ハンドクリーム』の商品特徴》

① 偕楽園の梅の香り

毎年2月中旬から3月下旬にかけて開花する梅の品種のひとつ「白加賀」の香りを再現しました。

白加賀は白色一重の梅で、品の良い甘い香りがします。



② 透明感とハリのある肌に

ウメ果実エキスが手肌の乾燥によるくすみとたるみを予防し、明るく弾む肌に導きます。



③肌トラブルを防いで、肌を健やかに保つ特許取得成分を5種配合



新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、日々の感染予防のため手洗い・アルコール消毒により肌荒れや乾燥、かぶれなど、手肌への負担も増えています。

このハンドクリームは、特許取得済成分に加えて、ユズセラミドやダイズエキスなどうるおいを与え素肌を守るハーブエキスを配合。肌トラブルを防いで、しなやかな美しい手肌に整えます。

《パッケージデザインに込めた思い「思いのまま」》

『偕楽園の梅ハンドクリーム』のデザインは「思いのまま」という一本の木の幹に白から紅の花がさまざまに咲きそろう珍しい品種の梅の花をモチーフにしています。

ハンドクリームをご利用になったお一人おひとりが手肌の悩みから解放されて「思いのまま」に自分らしく毎日を過ごせますように、という思いを込めました。



【製品概要】

名称：偕楽園の梅ハンドクリーム

価格：1,980円（税込）

内容量：35g（手元に使用で約1ヶ月）

販売場所：鈴木ハーブ研究所公式HP <https://s-herb.com> 鈴木ハーブ研究所直営店舗

偕楽園売店「見晴亭」、水戸駅ビルエクセルみなみ「茨城味撰倶楽部」などでの販売中

製品のご注文問い合わせ：フリーコール 0120-32-8633

【会社概要】

社名：株式会社鈴木ハーブ研究所

代表取締役社長：鈴木さちよ

本社所在地：〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松 2461

URL：<https://s-herb.com>

設立年：2004年9月

従業員数：40人

事業内容：化粧品の研究開発・販売・ハーブの品種改良・栽培・販売・ハーブ講習・講演・執筆

<プレスリリースに関するお問い合わせ先>

株式会社 鈴木ハーブ研究所 販促事業広報 担当：長山 真貴

TEL：029-282-4700 E-mail：ma_nagayama@s-herb.com